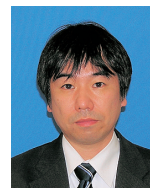


震後の危機管理対応事例等の道路震災対策便覧(震災危機管理編)への反映



危機管理技術研究センター 地震防災研究室 研究官 山影 修司 室長 高宮 進

(キーワード) 地震、危機管理、道路管理者

1. はじめに

大規模地震が発生した場合、道路管理者には諸対応を迅速かつ的確に行うことが求められる。そのため道路管理者は、あらかじめ震後の危機管理対応を計画するとともに、地震発生後はその計画に基づき的確に行動をとることが望まれる。また、平常時から防災訓練等によって震後の危機管理対応を理解しておくことが重要となる。

2. 道路管理者の震後危機管理対応の研究

道路管理者が震後の危機管理対応を計画し、それに基づく行動をとるためには、地震後における具体的な対応を知ることが重要である。そのため、過去の地震災害において道路管理者が行った危機管理対応を調査しまとめた。ここでは、過去の災害記録集や、平成19年新潟県中越沖地震等で情報収集活動な

どの対応を行った道路管理者へのヒアリング結果より、具体的な対応事例について整理した。

また、各地で行なわれている地震防災訓練等から訓練手法等を整理し、道路管理者の震後対応能力向上に向けた訓練の実施方策をまとめた。

3. 道路震災対策便覧(震災危機管理編)への反映

これらの研究成果を、道路震災対策便覧(震災危機管理編)へ反映させた。本便覧の本編は、道路管理者の震後の危機管理計画、行動方針等を取りまとめた手引書として、平成23年2月に(社)日本道路協会から発行されたものである。本編には、道路管理者が震後の危機管理計画に沿って行動する上で参考や教訓となる対応事例を紹介するとともに、地震防災訓練の手法等についても記載した。